

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	道徳				
担当者氏名	大倉 健太郎				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<input type="radio"/> 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 <input type="radio"/> 専門応用-4 発達の深い理解 <input type="radio"/> 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

道徳の本質は、「道徳とはなにか」を問い続けることにあ
る。よって、「答え」は既に用意されているというより、自身
が考え、仲間と議論することによってこそ「答え」を導き出せ
るといってよい。本講では、自身に問いかけ、他者と討議しな
がら、道徳に対する見方を修得することを目的とする。

《テキスト》

井藤元編 / 『ワークで学ぶ道徳教育』 / ナカニシヤ出版

《参考図書》

テキストの各章末にある【読書案内】を参照のこと

《授業の到達目標》

- (1) 「道徳」における問題とはなにか、理解する。
- (2) 自分なりの道徳に対する見方や態度が持てる。

《授業時間外学習》

事前にテキストを読み、各章のテーマの把握に努めること。授
業後は、【読書案内】や参考文献を活用し、理解を深めるこ
と。

《成績評価の方法》

授業内ワークシート（50点）、期末テスト（50点）

《備考（教員経験の有無）》

- ・本シラバスは対面授業用とし、遠隔授業用ではない。
- ・グループワーク等を行なう際は、積極的に参加すること。
- ・受講者の理解度に応じて、進度を調整することがある。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	道徳について	「答え」のない問いとしての道徳
2	第1章 道徳を教えるとは	「義務」から考える「理念」としての道徳
3	第2章 学校における道徳	道徳教育批判と道徳教育方法論
4	第3章 先人の道徳への問い	自由の相互承認という原理
5	第5章 戦後の道徳教育	「特別の教科 道徳」の誕生
6	第6章 市民形成と道徳	コスモポリタン・シティズンシップ教育
7	第7章 「優しさ」について	「ケア」と「共感」
8	第8章 「他者」への尊重について	いのちの教育の基本原理
9	第9章 道徳的課題として環境問題	環境問題との関わり
10	第10章 情報モラルについて	仮想空間におけるケンカ
11	第11章 子どもの人格形成	「イタズラ」は悪か
12	第12章 人間関係の構築について	「自己」と「他者」のかかわりあい
13	第13章 修養とはなにか	マインドフルネスから学ぶ
14	第14章 道徳教育における言語活動	言葉から見えること、見えないこと
15	まとめ	授業の振り返り